

会 議 録

審議会等の名称	第1回山口市教育振興基本計画策定委員会	
開催日時	平成29年7月18日(火) 13:30~15:30	
開催場所	山口市役所別館1階第1会議室	
公開・部分公開の区分	公開	
出席者	村上委員長、川野副委員長、ウィルソン委員、岡本委員、小野委員、川久保委員、藏重委員、砂井委員、田澤委員、田原委員、中村委員、藤井委員、藤川委員	
欠席者	なし	
事務局	中谷教育部長、磯部教育部次長、原田教育総務課長、江山学校教育課長、井上社会教育課長、石川教育総務課主幹、岡本教育総務課副主幹	
付議案件	議 事 (1) 次期山口市教育振興基本計画策定方針について (2) 現在の山口市教育振興基本計画の進捗状況について (3) 計画の構成について	
内容		次第に基づき、以下のとおり進められた。 1 委嘱状交付 2 教育長あいさつ 3 委員紹介(自己紹介) 4 委員長及び副委員長の選出 ・委員長 : 村上委員(あいさつ) ・副委員長 : 川野委員(あいさつ)
	委員長	5 議事 それでは議事の(1)次期山口市教育振興基本計画策定方針について事務局から説明をお願いします。
	事務局	(1) 説明
	委員長	今の説明について、皆様から質問や意見があればお願いします。
	A委員	今後、委員会の検討の中に盛り込んでもらえると思うのですが、医学的に言いますと脳の成人の重さの8割に3歳までに達するので、三つ子の魂100までという格言も科学的に証明されています。就学前を計画範囲としてやっていると小学校からでは遅いと考えます。グローバル化を考えると適切なタイミングで正しい知識を提供することが必要となります。対象範囲を幼児教育の部分まで広げていただきたいと思います。
	B委員	策定委員会の提言を受けて教育委員会で決定するとなっているが、毎回でなくても教育委員が本委員会と一緒に出席してもらったほうが意見

	をわかってもらいやすいのではないかと。
事務局	基本的には教育委員会で最終的に決定するうえでは、この委員会の意見に加えて議員や他の団体の意見を頂くなどして、集約して最終的に決定していく手続きになります。
A委員	今日の資料を見ますと、計画策定までのスピード感が足りないと考えます。
委員長	そのあたりは事務局も参考にして進めるようにしてください。
委員長	それでは議事の（２）現在の山口市教育振興基本計画の進捗状況について事務局から説明をお願いします。
事務局	（２）説明
委員長	今の説明について、御質問、意見はありませんか。
A委員	小学校の芝生化事業がありますが、すべての小学校に芝生化を進めることと理解してよいですか。
事務局	名田島小学校と嘉川小学校でモデル事業として、地域の方に芝生の世話をさせていただいて進めています。芝生が青々していて良いが、芝刈りなどの維持管理に地域の協力が必要なため、他の学校には進んでいない状況です。
A委員	地域の人口が減っていくので、地域の負担が大きい事業は良くないので、人工芝などに変更して進めるほうが良いのではないかと。こうしたものは見直していただいて10年後、20年後を見据えて取り組んでいただきたいと思います。
B委員	先生の職場、就業体験は現在でも実施されていますか。
事務局	新任教頭の研修として5日間の日程で行っています。
B委員	コミュニティ・スクールにおいて、地域の人が入り一般的な常識が学校に入るようになっているのだから、もう止めてもよいのではないかと。その分生徒たちに向き合ってもらうほうが良いのではないかと思います。 一方で生徒たちの職場体験は良いことと考えます。
委員長	他にはありませんか。
C委員	現場の先生が読書ノートに懐疑的な話をされていたことがありました。子どもたちは、十分、読書をしているので、読まなければいけないとか、感想を書かなければいけないと、子どもたちが思うようなことを制度化するのはいかがかなと思います。この読書ノートの導入の経緯はどういったものか、また、今後どのように進めていくのか、考えを聞かせてほしいと思います。
事務局	日本一本をよむまちを推進しており、学校でも、しっかり読書をしております。市全体として読書をしっかりやっという思いの中で、図書館指導員も22名配置しており、教員や図書館指導員との話し合いの

		<p>中で、子どもたちが取り組みやすい試みとして導入しました。押し付けにならないように各学校でも気を付けています。</p>
	事務局	<p>一番最初は、図書館の銀行の通帳のように他市でやっているものを考えていました。本を自分たちで読んだものを残していくことが必要ではないかという議論の中で、記録よりは一度読んだものについて、再度考えられるようなものということでノートという形になりましたが、手段であって目的ではないので、図書館サービス計画の中に盛り込んでいければ良いと考えます。</p>
	A委員	<p>今の質問に関連して、教育の意味は教え育てるだが、大辞林で意味を調べると、好ましい方向に人を導いていくというものです。これは教える側の意味合いだが、教育には教えをうける人がいて、双方向のコミュニケーションをとるとするのが理想です。日本では一方通行となっていて、小学校では京都の学校と、2年前にできた軽井沢のアイザックという高校以外は双方向の教育は育っていない状況です。</p> <p>今の読書ノートの反応は、人間の多様性が講じてくるから、10年先を見据えると多様性にどう調和させた教育をしていくかということだから、読書ノートを全員にやらせる必要はないのではないか。公平なのか、公正なのか切り替えながら、スピード感を持ってやっていく必要があると思います。</p>
	委員長	<p>他には何かありませんか。</p>
	D委員	<p>副読本についてですが、図書館に勤めていたときに、いつも子供たちの総合学習の相談を受けたときに、なかなか子どもたちへの良い副読本がなかった。自分が生まれ育った故郷について、きちんと知っていることが大事です。自分が生まれたまちが、どうだったか、どういう人がいたか、どういう文化があったか、ということを中心に子どもの時から知っていることが大切です。</p> <p>副読本はいろいろ出されているが良いものがなく、大人の資料をかみくみ提供していただきました。中原中也以外の今後の計画がありましたらお願いしたい。</p>
	事務局	<p>YCAMとの連携の中で何かできないか、考えていきたいという思いはあります。現時点では、新しいものはありません。</p>
	B委員	<p>良成小学校では、「吉敷さんぼ」という本を地域でつくられており、文化とか人とか生活様式が網羅されていますが、これを活用しています。</p>
	委員長	<p>大内にも歴史の冊子があると思います。</p>
	事務局	<p>地域づくり協議会で、地域の歴史や伝統を地域住民に知ってもらう取り組みはなされています。うまく副読本として活用できているかは承知していないが、大殿地区もウォーキングをしながら史跡をめぐるというような取り組みもあります。</p>

委員長	<p>他にはよろしいでしょうか。</p> <p>それでは議事の（３）計画の構成について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	（３）説明
委員長	今の説明について、ご質問等がありますか。
E委員	<p>山口市を取り巻く環境と課題のところで、高度情報化やSNSの使用の弊害とあるが、これからの子供たちは情報化社会抜きでは考えられない状況ですから、それを使用することは決して悪いことではないので、弊害という言葉を使わずに、むしろ情報モラルとか、正しい機器の取り扱いといった教育をしていかなければならないというスタンスに立って物事を考えることが必要です。それ自体が悪いものではないので害という表現を使わないほうが良いと思います。</p>
委員長	もう少し肯定的な表現をということですか
E委員	子どもたちが上手に使いこなせるようになるような表現にしていきたいと考えます。
委員長	他にはいかがでしょうか。
A委員	<p>これからの情報化時代でもメールでは遅いので、的確にスピーディーということであれば、ショートメッセージサービスや、ラインのほうが能率的といわれています。</p> <p>そういう環境を肯定的にとらえていただくほうが良いと思います。</p> <p>少子高齢化についても、それぞれ「超」をつけて強調してほしいと思います。</p> <p>続いて、教育目標のやまぐちで育てるという表現について、育てるという意識が強いと、トップダウンになってしまうので、ここは、やまぐちで育つとしてはどうでしょうか。子どもたちの自立性を鑑みてというイメージになるのではと考えます。</p> <p>それから基本的方向性と施策のなかで、2③の安心・安全な教育環境を整えるのなかで、ここにも一言、「快適な」といれていただきたい。中四国9県の中で公立の小中学校の冷房化率が香川県は90%あって、山口県は18%と下から2番目となっています。人口密集地の東京は80%を超えています。夏休みを短くしようという方向にいつているのであれば、子どもたちの教室が猛暑では教育できない環境なので、しっかり整備していく必要があります。早急にやっていく必要があるので「快適な」といれてほしい。</p> <p>3③について次代を担うとあるが、これは、よく言われる次世代のほうが語感が良いと思います。</p> <p>プロジェクト事業の3番のグローバル人材という言葉は市民権を得ているのだろうか。一般的にはグローバルに活躍できる人材を育成するで</p>

		はないか。和製英語を使用するよりの確に子どもたちや市民に伝わるように書くほうが良いと思います。
	B委員	カタカナ語があるのが非常に気になります。シビックプライド、シテイセールス、アクティブシニアなど分かりにくい言葉があるが定着している言葉なのでしょうか。 また、子どもは育つではなく、育てるのほうが私は良いと思います。我々大人が育てるのほうが理にかなっているように感じます。
	A委員	初めてのお子さんを授かったおかあさんに、あかちゃんは育っていますか、育てていますかと聞くと、ほぼ9割の人が育っているといえます。それが出産後1ヶ月くらい経つと育てているといわれます。子育てにはいろいろハードルがあるが、うまくいかなかったときに、おかあさんが、自責の念にかられることがよくあります。 育てるという意識が強すぎると、アウトカムがうまくいかなかった時に、責任問題に発展するというような感情になると思います。子どもたちは地域が育むものであって、家庭ではないということを強調しなければいけないと思います。子どもが育つ環境整備をしなければならないという思いからです。
	事務局	この目標は現行のものなので、今後、新しく議論したいと考えます。当時つくった思いとしては、やまぐちという社会が子どもたちを育てるというもので、社会システムをつくらうという思いを持って決めたものです。
	F委員	教育をとりまく環境と課題の中で、教職員の働き方改革があるが、実際には、教育する側が問題で、経済同友会では、この10年くらい先生を1年間預かって指導しています。教頭になる先生やその前の段階の先生もいるが、結局、先生の社会性は誰がいつ教えているのかが問題になります。こういう働き方の中に、先生方に対する指導をどこかでやらないといけない。教育界だけの問題ではなくて、社会全体の問題に繋がります。これはプロジェクトの4番に入るのか、それとも、どこかに入るのか。それとも策定には関係ないということなのか。
	事務局	基本的方向性2①の学校、教員の質を高めるになると考えます。ただ労働問題でもありますので、本計画で取り扱うのが良いのか議論の余地はあると思います。
	委員長	他にはよろしいですか。
	G委員	最近の就業構造も大きく変わってきていると思います。母親がほとんど、働いています。一人っ子も増えてきています。今の子どもたちに対して結婚することの大切さを、結婚しないことも含めた選択肢はあるけれども、兄弟がいらないから命の大切さだったり、結婚することの良さを教えるのは、教育ではなくて福祉の分野になるのでしょうか。 思春期子育て体験事業という中学生とあかちゃんがふれ合う事業があ

	<p>るが、家庭は良いものだな、赤ちゃんはかわいいな、私もいつか結婚したいなという気持ちをもたらすようなことが計画に入っていなかったので質問します。</p>
事務局	<p>いわゆる社会教育に入ると思います。家庭教育においても婚姻などについて関わるもの、多様な選択肢があるなかで、社会としてどう取り組むか考えていく必要があると思います。また、山口市では地方創生の関係で婚活事業を実施しています。言われるように人生をどう歩んでいくかは社会教育となります。大きなテーマと認識しています。</p>
委員長	<p>他市では子育て課というのを立ち上げた事例もあります。 学校教育の中でも、やり方によっては可能かなとも考えます。</p>
C委員	<p>学校での教育が、私たちが子どものころと比べてパッケージ化されていると感じます。例えば、家庭科でエプロンなど作るときに、私たちのときは布を買いにいくところからやっていた。今は学校で番号を選んで、さらに布に山折谷折とか縫う順番が書かれていて、縫い物の楽しさを身につけられる子どもがどれほどいるのか疑問に思います。</p>
A委員	<p>誰が子どもたちを見るかとなると、地域、地域力がキーワードだと思います。人間は古来、DNAの中にみんなで育てるというものをもっています。お母さんだけが育てるのではなく地域で育てることを再認識する意味で地域力の表現は良いと思います。それが、子育て課というような表現になると育てるという責任感をおおわせる言葉なので、やわらかいタッチでやっていただくほうが解決の方向に向くのではないかと考えます。</p>
委員長	<p>以上が議事になりまして、会議の終了予定時刻まで時間がありますので、全体を通してでも構いません。皆さんからのご意見があればいただきたいと思います。</p>
副委員長	<p>今後の議論の進展の仕方ですが、目標と計画構成の個々について計画内容と合わせて議論をどのようにしていくのでしょうか。</p>
事務局	<p>今後の進め方ですが、第2回、第3回で内容を検討していきますが、第2回は基本的方向性の1、2について、第3回は基本的方向性の3、4について、事務局から資料を示して、意見をいただいて、それを事務局で整理してから目標等を決めていきたいと考えています。第4回は素案を示していきたいと思います。</p>
委員長	<p>教育目標自体も決めていくということになりますか。</p>
事務局	<p>教育目標についても意見をいただく中で、また案を示していきたいと思えます。</p>
A委員	<p>資料の中で山口市総合計画の素案についてはファジーな記載となっているが、これは10年で何をディスカッションしていくのかというと、3つなのか8つなのか、例をあげて内容をしぼってゴールを定めて、そ</p>

	<p>れに対する戦略を定めて、それを毎年評価して軌道修正していくことをしないと、概念論だけだといつまでたっても完成形はでてこないと思います。</p> <p>交流人口は増えるとあるが憶測の世界なので、これをやるなら、来年の明治維新150年にあたり、外から見学に来た人を案内する準備など書かないといけない。はっきりした戦略を書く必要があります。</p>
事務局	<p>補足説明ですが、総合計画は、基本構想、基本計画、実行計画の3つで総合計画としています。基本構想部分には山口が目指す基本目標や理念を記載しています。前期基本計画は5年で1センチくらい、実行計画は3年で5センチくらいの厚さの冊子になって指標が載っています。これを市民にどう分かりやすく示していくかということが課題となっています。膨大な資料を見ていただくと理解いただけるのですが、言われたように明確に示していくことが課題となっています。</p>
A委員	<p>アウトカムが明示していないのはいくら文字が書いてあっても機能しない。機能するものは案外数ページのものになります。厚さが厚い、薄いではなく、うまくまとめていただきたいと思います。指標も客観性を持ってほしい。</p>
事務局	<p>教育、文化はクオリティが数値化しにくいところがあります。山口市も成果を数値化して12、3年経つが客観性については限界があることも議論している状況です。</p>
H委員	<p>学校評価でアンケートがあるが、5段階評価だが、よっぽどのが無ければ「3」を書くことになります。絶対的な数字は出てこない。いろいろなものに対して数値化をしていくことは難しいと思います。</p>
A委員	<p>もっと、いろいろな方法で数値化しないといけないと思っています。</p>
F委員	<p>結局、今の構成は前回同様だが、基本的方向性の中で未来を切り開く学びとは何を指しているのか、また、誰もが教育を受けやすくするとあるが、山口市に教育を受けられない方がどれくらいいるのか、具体的なデータを出して、根拠を示してほしいと考えます。</p>
B委員	<p>少人数教育の充実ということについて、今後も進んでいくのか。現在は35人学級ですが、このまま20人とか進むのか。少子化も進むので子どもは減ってくる、社会の中で揉まれるのが大切なので、ある程度、歯止めが必要だと考えます。</p> <p>先生方の呼び方は、教員か教師か。教員だと調整役、コーディネーターの意味も出てくると思う。私は教師が正しいと思います。</p>
事務局	<p>教職員に求める仕事のイメージでいえば、教師であるということは良く分かります。我々が使うのは法律用語としてのものです。</p> <p>教師像というのは、時代の変化の中でかわっていくとも考えられます。</p>
B委員	<p>しっかりプライドを持ってやっていただきたいと思います。</p>

	I 委員	<p>グローバルの英語教育、年々ALTの訪問日数が減っています。これは良くないと思う。スカウトジャンボリーのこともあって一時多かったと思うが、スカウトジャンボリーは入り口なので、イベントが終わったからといって減らしてはいけないと思います。これから、小学校3、4年生の英語教育が始まるので、これからますます小学校へのALT派遣が大事だと思います。</p> <p>計画の範囲の義務教育、家庭教育のところで、規範の必要性、自己肯定感の必要性がなにより大切で、一番重要なことと考えます。現在の計画の中で自由とか夢とかというような表現で表されているが、もっと、そのままの言葉で計画に書いてほしいと思います。もっと、自分が好きという言葉の前に出してほしいと思います。</p> <p>先ほど、話のあった、縫い物でも行程が決まっていて、自分で考える余裕がないというのが問題。もっといれていただきたいのは、キーワードとしては失敗と自由です。自分が好きになるためには、自信を持たなければいけない。自信を持つためには、失敗して自分で考えてこういうふうにしよう、でもうまくいかない、ではこういうふうにしようとか、実際にやってみて失敗して自分で考える余裕や自由時間が必要です。</p> <p>最近、モンテッソーリ教育が話題になっています。これの大事なところは自分の好きなことを好きなときに、好きな時間するということで、すごく成功している人がいます。私のいともその一人。10歳くらいまで字が読めなかった。周りは心配していたが結果として、その子はハーバード大学で教壇に立っています。今のぎゅうぎゅう詰めのカリキュラムの中でも、好きなことに集中できる時間があると良いと思います。</p> <p>また、大殿小学校に放課後のクラブに行っているが、1年間で10回程度しかなく、また、期間も集中して実施してその後は2、3カ月後というようになってしまうために、なかなか物を作っていくことができない状況です。</p> <p>授業中が難しければ、放課後に地域の力を借りて、子どもたちが自由に出来る時間を作れることが大事だと思います。</p> <p>また、失敗と自由は親にも必要です。今の親世代は共働き世代で、祖父母と同居もしていないので、どうやって育てたらよいか分からない人もいます。親も失敗しても良い、あんまりプレッシャーにならない参考になる情報が必要です。子育てだけでなく親育てでできるシステム作りが必要です。現在の相談場所には、うまく子育てが出来ている人がいます。そうでない人は自信がないからそういったところにもいけない。相談と失敗が親も子もできるような計画になればよいと思います。</p>
	副委員長	<p>今後の議論のあり方ですが、耐震化などは誰も反対しないので、数値化される部分は皆さん賛成されると思います。数値化が難しい部分が問題となるが、無理して数値化しなくても、例えば先生方など、現場で携</p>

		<p>わっている方が、これまでの授業で感じられた良い点、問題点などについての意見を出してもらえば議論ができると思います。</p> <p>このプロジェクトには、こういう賛成意見もあるけど、こういう課題も指摘されているというのがあって良いと思います。</p> <p>ここが議論になると、現場から聞いて出してもらおうほうが議論しやすいと思います。</p>
	委員長	今の点は次回までに対応できますか。
	事務局	次回の会議までに議論しやすいように用意したいと思います。
	J委員	<p>郷土愛を育むとあるが、今の子ども達には郷土愛というのを進めないといけないのではないかと。各地域の自分のところを知るのが、自信を持って、自分のところはここが良いよといえる。小学校、中学校のうちに、郷土に自信を持って、誇りを持っているところまでもっていくことが大切だと思います。</p> <p>小さいときから、郷土読本などを使って、地域の偉人や文化を知ってもらって自信を持ってもらえるような教育が必要だと思います。</p>
	K委員	山口の教育目標にやまぐちで育てるとあるが、今、山口市は21地域があります。子どもは地域で育つ。地域は自治会が集まってできています。自治会の力、自治会がより活性化して地域の力を持てば、地域の力で子どもを育てる環境にもなります。地域の力が不十分になっているので、自治会長さん方にも頑張ってもらって地域が力をつける必要があります。
	委員長	そろそろ時間となりましたので、事務局に進行をお返しします。
	事務局	<p>6 その他</p> <p>次第の6のその他でございます。</p> <p>本日、質問意見連絡票を配布しておりますので、何かありましたら一週間程度を目途にいただきたいと思います。</p>
	事務局	<p>お願いで申し訳ないのですが、今日の議論にあった自己肯定感について重要とは認識していますが、日本においては苦手としているところだと思います。なかなか本計画の中でもうまく表現できていない状況です。</p> <p>何かこれについて良い事例等がありましたら、御教示いただきたいと考えております。</p> <p>また、3歳児までの教育のアウトカムについて、市として事業に取り組んでいない状況です。1歳から3歳までの教育の取組の事例があれば、社会教育、家庭教育支援になると思いますが、御教示いただきたいと思っております。</p>
	事務局	次回の会議は8月下旬で調整したいと考えております。

	会議資料	<ul style="list-style-type: none">・ 次第・ 議事資料・ 委員名簿・ 配席図・ 山口市教育振興基本計画策定委員会設置要綱
	問い合わせ 先	山口市教育委員会事務局 教育総務課 TEL 083-934-2859